

I C T活用実践紹介

秋田県立聴覚支援学校

実践紹介 幼稚部



4歳児学級 総合保育

「友達とのやり取りを育むための i P a d 動画の活用」



モニターで動画を提示



友達へのメッセージを i P a d で撮影

視点 1

- ・ 幼児同士のやり取りにつながるよう、幼児が話す様子を i P a d で撮影したり、撮影した動画を見たりする。

視点 2

- ・ 動画を見て、相手の伝えたいことを読み取ったり、自分で気付いたことを伝えたりする。

子どもの 変 容

- ・ 動画を介して相手とやり取りしたことで、意欲的に活動できた。
- ・ 手話や表情、音声などの情報から、大まかな内容を読み取ることができた。

5歳児学級 総合保育 「天気予報を知るためのブラウザの活用」



- ・ブラウザを活用して天気予報を提示

<目的>

- ・ 7月7日に天の川が見えるか
- ・ 水遊びができるか 等

視点1

- ・ 水遊びや七夕等、数日先の活動への期待感を高める。
- ・ PC等で天気を調べることができることを知る。

視点2

- ・ PC等で様々な情報を得ることができることを知る。

子どもの 変 容

- ・ 活動への期待感を高めることができた。
- ・ 自分から母親に天気予報を聞くようになった幼児がおり、天気についての関心が高まるなど、親子のやり取りのきっかけとなった。

4・5歳児合同 総合保育

「動画で情報を伝えるための、タブレットやDVDの活用」



iPadで撮影した動画をモニターで提示



踊りの動画をDVDで提示

視点1

- ・ 幼児が活動内容に関心をもったり注目したりできるよう、タブレットで撮影した動画をモニターで提示する。

視点2

- ・ 夏祭りの踊りを家庭でも楽しめるよう、各家庭にDVDにして配布する。

子どもの 変容

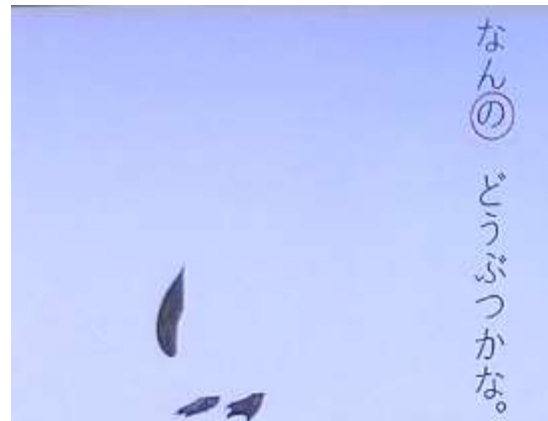
- ・ モニターを提示したことで場面が切り替わり、注目できた。
- ・ 注目できたことで、動画の中で教師が話した内容を読み取れた。
- ・ 家庭でもDVDを見て踊りを楽しんだことで、保育でも意欲的な姿が見られた。

4・5歳児合同 総合保育

「思考を深めたり、自分の気持ちや考えを周りに発信したりするためのパワーポイントの活用」



テレビモニターでクイズを提示



クイズの画面

視点1

- ・ 答えを導き出すヒントとして、少しずつ動物のパーツが見えるようにクイズ画面を作成する。

視点2

- ・ 視覚で捉えながら思考を深めたり、答えを導き出したりすることができるようにする。

子どもの 変容

- ・ 動物のパーツを少しずつ提示することで、「近くで見てもいい?」「もっと見せて」などの自発的な発言が聞かれた。

4・5歳児合同 総合保育

「PowerPointを活用した絵本の拡大提示」



- ・ P Cに絵本を取り込み、PowerPointで提示
～学習発表会の事前学習～

視点 1

- ・ 絵本を拡大提示することで、小さな絵本を見やすく提示する。
- ・ 読み聞かせを楽しみながら、主体的に情報を得る態度を養う。

視点 2

- ・ 絵本を拡大提示することで、提示された情報を細部まで見ようとする態度を養う。

子どもの 変 容

- ・ 絵本を拡大提示したことで、期待感が高まったり細部までよく見たりすることができ、最後まで絵本を楽しむ姿につながった。

4・5歳児合同 総合保育 「Zoomを活用したやり取り」



- ・ P Cやモニター、スピーカーを使用

＜やり取りの内容＞

- ・ 学習発表会の報告
- ・ 相手の先生への質問 等

視点 1

- ・ Zoomを活用して、相手に伝えたいことを考えたりやり取りしたりする意欲を高める。

視点 2

- ・ P C等で相手の顔を見ながらやり取りできることを知る。
- ・ 画面でのやり取りは相手の口元や手話が見え、分かりやすいことを知る。

子どもの 変 容

- ・ 活動への意欲が高まり、自ら挙手をして話す姿が見られた。
- ・ 相手の口元や手話が見え、話がよく分かれると話す幼児がいた。

4・5歳児合同 総合保育 「Zoomを活用したやり取り」



実践紹介 小学部



第3学年 自立活動

「経験したことを振り返ったり、 言葉と結び付けたりするためのiPad（写真機能）の活用」



写真を見ながら
振り返ったり、
好きな写真を選
んだりする



写真を見て経験し
たことや感想を発
表する

視点1

- ・自分の好きな写真を選んだり（取捨選択）、見たいところを拡大して詳しく見たり（読み取り）する。

視点2

- ・教師とやり取りをしながら、出来事や自分の気持ちを言葉で表現する。

子どもの 変容

- ・活動を思い出し、自分で言葉をつなげて表現したり、教師の言葉を復唱したりして伝えようとするようになった。

第4学年 生活単元学習

「活動に見通しをもつためのTVモニターの活用」



ビデオレーターを見て、
学習の見通しをもつ



ビデオの内容を基に、
2択の質問に答える



iPadを見て、自分の活動の
様子を振り返る

視点1

- ・ 学習の流れや内容に見通しをもち、これからやることが分かる。
(活動の理解)

視点2

- ・ やりたい活動を自分で選択して取り組む。

子どもの 変容

- ・ モニターを集中して見るようになり、自分で物を準備したり、
進んで活動に取り組んだりするようになった。

第4学年 生活単元学習

「活動に見通しをもつためのTVモニターの活用」



第4学年 生活単元学習

「しゃしんやさんをしよう」

第5学年 生活単元学習

「学習発表会の劇をイメージし、

よい発表の仕方への気付きを促すiPadの活用」



教師が作成したスライドを
見て劇の流れを確認



練習の様子をiPadで撮影



練習の動画を見て改善点に気付く

視点1

- ・自分の役割や劇の流れをイメージし見通しをもって練習に取り組む。（学習計画と見通し）

視点2

- ・自分の姿を撮影しそれを見ることで、声の大きさや発音、手話動作を振り返り、よりよい発表の仕方を考えることができる。

子どもの 変容

- ・よい発表にしたいという思いがあり、自分から改善点に気づき、進んで改善に取り組んだ。

第5学年 自立活動

「経験したことを振り返り、具体的な言葉で伝えるためのiPadの活用」

iPadで動画や画像を見て振り返る



関連する情報について、さらに知りたいことを検索する



視点 1

- ・自分が見たい部分をじっくりと見られるように、写真の拡大や動画の再生、停止、巻き戻しなどの操作や検索機能を使うことができる。

視点 2

- ・教師と一緒にエピソードを交えながら動画や画像を見て行事等を振り返り、具体的な言葉の表現につなげていく。

子どもの変容

- ・自分で操作することが楽しくて、苦手な文章づくりにも嫌がらずに取り組むようになった。
- ・写真や動画を見ながら新しい言葉を覚えたり、具体的な表現のために言葉を考えたりするようになってきた。

第3・4・5 学年合同 図画工作

「好きなものを表現するiPadの活用」



自分の写真を紹介する



作品を好きな場所に置いて撮影する



対象を自分で決めて撮影する

視点1 ・自分の関心のあるものをiPadで写真に撮り、みんなに紹介する。

視点2 ・友達が撮った写真を見ながら、新たなものの見方に気付く。

子どもの 変 容

- ・自分で撮りたいものを決め、その理由を答えることができるようになってきた。
- ・友達がどんなものを撮ったのか、興味をもつようになった。

実践紹介 中学部

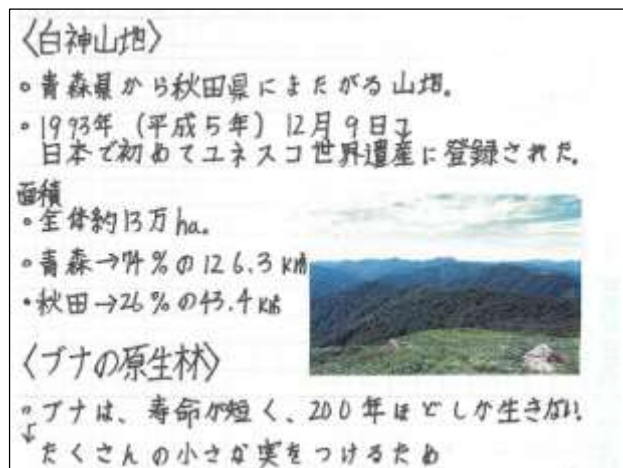


What's the date today ?
It's December sixth.

Do your best!

第1学年 総合的な学習の時間

「調べたことをまとめて相手に伝えるための活用」



白神山地について調べたことのまとめ



報告会発表用スライド

視点1

- ・宿泊学習の行き先である白神山地について調べる際に、iPadを活用する。
- ・調べたことや体験したことを報告する際に、アプリのスライドを用いて資料を作成する。
- ・聞き手が分かりやすい資料を作成するために、必要に応じて画像や写真を選び、スライドに活用する活動に取り組み、表現の工夫をする力を高める。

視点2

- ・自分の発表内容を聞き手に確実に伝えるために、どんな方法が適切か、自分の発表の仕方は相手に伝わるかについて振り返る場面を設ける。

子どもの 変容

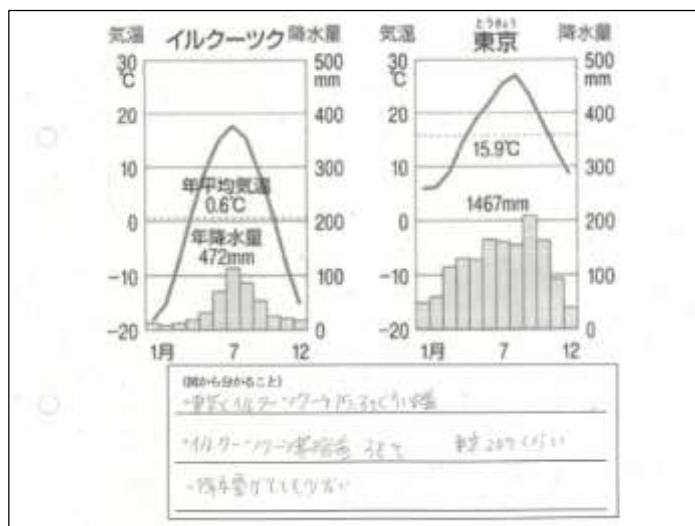
- ・資料作成→発表 の活動を2回実施したことで、見通しをもって活動に取り組めた。分からないことは生徒が自ら調べて、資料作成に活用できた。提示資料の文字の大きさ等についても、見やすくなるポイントを提示することで、スライドを工夫しながら作成できた。

第1学年 総合的な学習の時間

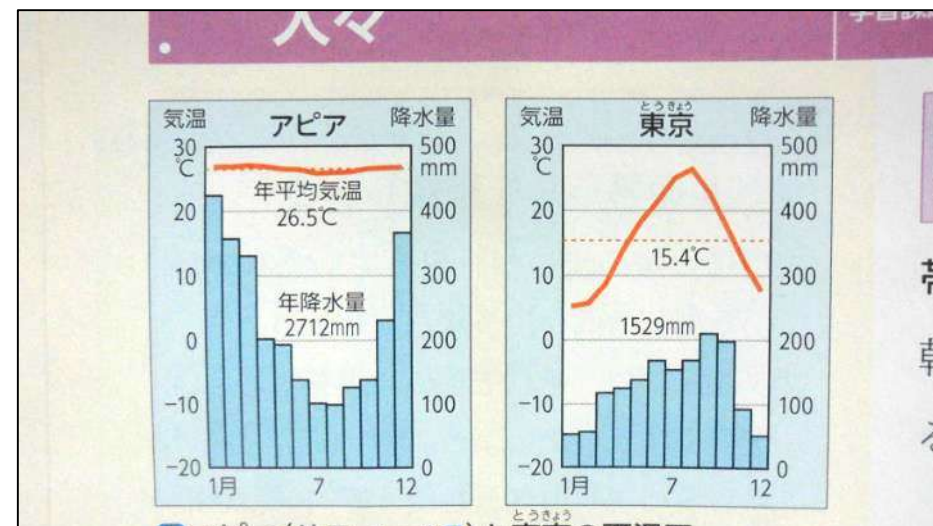
「調べたことをまとめて相手に伝えるための活用」



第1学年 社会 「情報を読み取るための写真機能の活用」



異なる気候帯の特徴



北半球と南半球の違い

視点1

- ・雨温図の読み取りで、着目させたい部分を切り取り、提示する。
- ・地域による生活の違いをとらえられるように、衣食住に関する写真を複数提示する。
- ・気候帯の分布について細かく把握できるように、気候帯を示した世界地図を拡大・縮小する。

視点2

- ・まとめの学習を深めるために、生徒の発言や気づき、キーワードを文字や画像として残す。気づきが足りない場合に、補助資料として提示する。

子どもの 変容

- ・雨温図を見て雨量や気温の変化を説明する活動を通して、各気候帯の特徴や北半球と南半球の違いなどに気付くことができた。
- ・温帯に属する日本と比較することで、自然環境に合わせて高床にしたり、窓を小さくしたりするなどの工夫がされていることに気付くことができた。衣食住とイメージしやすい内容であったので、自分なりの言葉で適切にまとめることができていた。
- ・各気候帯の分布を大まかに捉え、寒帯の次に極に近い地域が冷帯であることが分かった。また、南半球には冷帯が見られないのは、その地域に大陸がないということにも気付くことができていた。

第2学年 国語「本文を根拠に心情を読み取るための活用」



「ワーク」のフラッシュカードと「マイボード」の付箋入力

視点1

- 導入時に、「ワーク」のフラッシュカードで読み方を確認したり、写真資料を見たりして、読みを深める。

視点2

- 「マイボード」で登場人物の心情が表れている部分を抜き出し、付箋で気持ちを挙げることで、根拠を明確にして心情を考える。

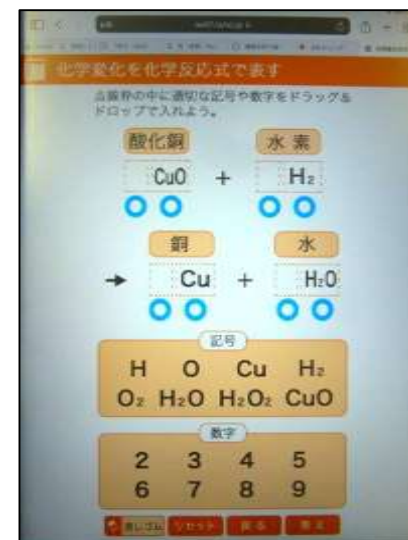
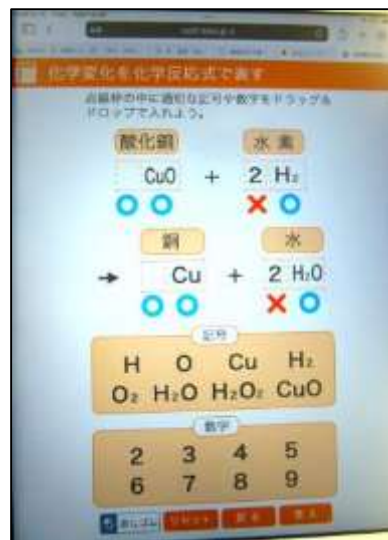
子どもの 変容

- 「ワーク」のフラッシュカードでは、資料を自分で選択して閲覧し、意欲的に情報を得ようとしていた。「マイボード」では、付箋入力のため、端的に表すよう心掛けていた。

第2学年 理科 「化学変化を化学反応式で表すシミュレーションの活用」



シミュレーションの様子



正しい化学反応式をつくる過程

視点1

- ・ 化学反応式をつくっていく思考の過程を、粒子モデルでシミュレーションすることで、反応前後の原子の数に注目した化学反応式のつくり方を理解する。
- ・ 様々な化学変化について、物質の化学式や数に注目しながら化学反応式をつくっていく過程をシミュレーションし、つくった結果を即時評価する。

視点2

- ・ 学習のまとめの文をモニターに映すことで、よく理解できている部分や、より良い文表現の仕方等を伝え、即時評価する。

子どもの 変 容

- ・ 既習事項と本時の学習活動の行き来をくり返したり、目に見えない物質を粒子のモデルで考えたりすることで、既習事項との関係性や物質の変化を適切に捉えられるようになってきた。また、国語科で学習した具体と抽象の考え方を理科の学習でも取り上げることで、抽象的なまとめ方ができるようになってきた。

第2学年 自立活動 「経験したことを書き出して、作文を書くための活用」



画面を拡大やスクロールをしながら試写する

視点1

- ・ 教師が本生徒の話した内容を、メモにまとめて打ち込み、文章を作成する。

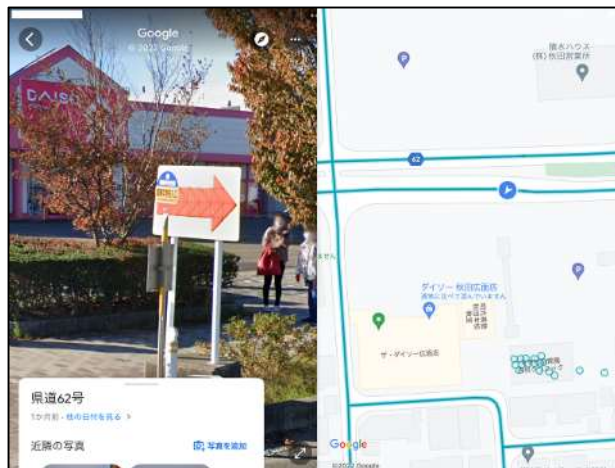
視点2

- ・ スクリーンショットしたメモ画面を自分で拡大し、文頭を画面端に合わせて間違えないように視写する。

子どもの 変 容

- ・ メモ機能に教師が打ち込んだ内容を一緒に校正し、原稿用紙に視写した。考えながら書くことが難しかったため、一度対話しながら書き出すことで、色々な経験を思い出すことができた。経験したことを視覚的に見ることができたため、「これを書きたい」など複数のメモから選択して作文を作成することができた。また、自分で文章を拡大し、文頭を画面端に合わせて間違えないように工夫している姿が見られた。

第3学年 総合的な学習の時間 「職場体験先までのルートを確認するための活用」



Googleストリートビューを活用し、ポイントとなる場所について確認

視点 1

- 乗降するバス停から職場体験先までのルートを地図上で確認したり、その周辺の景観を画像で確認したりする。

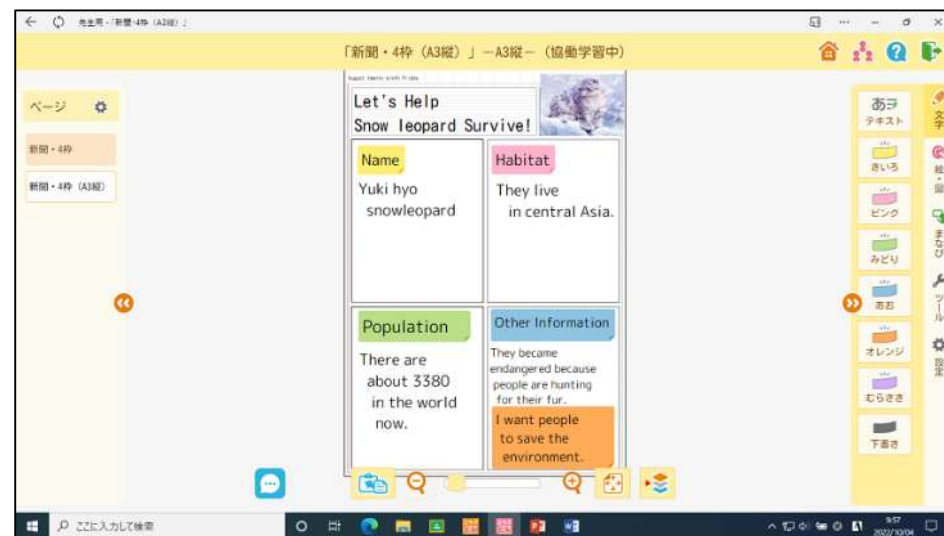
視点 2

- 通勤途中に昼食を購入することになっているため、ルート上にあるコンビニエンスストアについてあらかじめ知っておく。

子どもの 変 容

- 紙に印刷した地図、TV画面に映したマップ（拡大縮小しながら活用）及びGoogleストリートビューの画像を突き合わせながら、ルートや周辺の景観を確認する活動に積極的に取り組むことができた。
- バス停やコンビニエンスストア、交差点等ポイントになる場所や職場体験先について画像で確認することができ、初めての場所に向かう不安感を幾分かでも取り除くことができた。

第3学年 英語 「自分の意見を加えて記事を作るための活用」



「コラボノートEX」を用いた英語での新聞作成

視点 1

- ・ テンプレートを用いて、項目に分けて新聞を作成する。
- ・ コラボノートを電子黒板に映して、よりよい文章表現の仕方や、注意すべき文法事項について添削し、即時評価を行う。

視点 2

- ・ 教師の作った例文を参考にして、自分の意見を考えて新聞作成ができる。

子どもの 変 容

- ・ 新聞の項目に合わせて、伝えたいことの要点を絞って作成することができていた。
- ・ 教師の例を参考にすることで、短い文ではあるが自分の意見を加えて新聞を作ることができていた。
- ・ 自分で伝えたい内容に合わせて写真を選択することができた。

実践紹介 高等部



第1学年、専攻科第1学年 情報デザイン科 印刷概論 「成果物の発表活動」



作成したスライドを提示して発表



iPadで作成した資料をもとにした話し合い活動

視点1

- ・スライドにまとめる活動は、学習の理解や自分の課題認識につながる。
- ・スライド作成や発表は相手を意識した活動を展開できる。

視点2

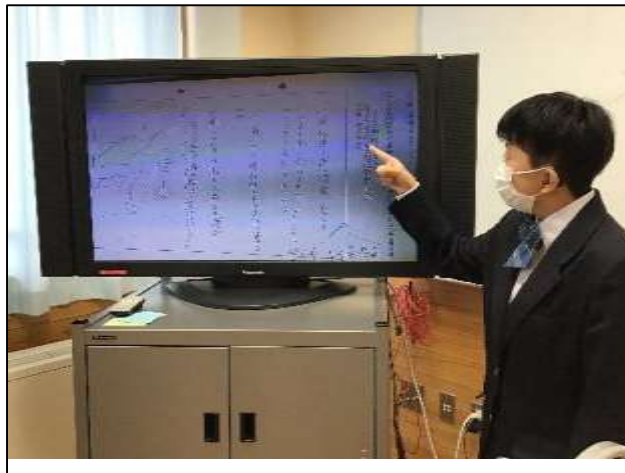
- ・スライド作成、発表、評価を通して、友達との比較から気付いたことや感想を出し合う活動につなげやすい。

子どもの 変容

- ・テンプレートを元に作成したことで、何についてまとめるのかが分かり、一人で進めることができた。
- ・発表する、相手に見せることを意識したスライドの作成は不十分である。

第3学年 情報デザイン科 現代文A

「お互いの考えを紹介し、やり取りをするための書画カメラの活用」



書画カメラでワークシートを提示

視点1

- ・ 文章中の比喩がどのような状況を例えているのか各自の考えをまとめる。
- ・ 書画カメラで各自の意見をモニターに映し、考えを紹介したり、やり取りをしたりしながら考えを深める。

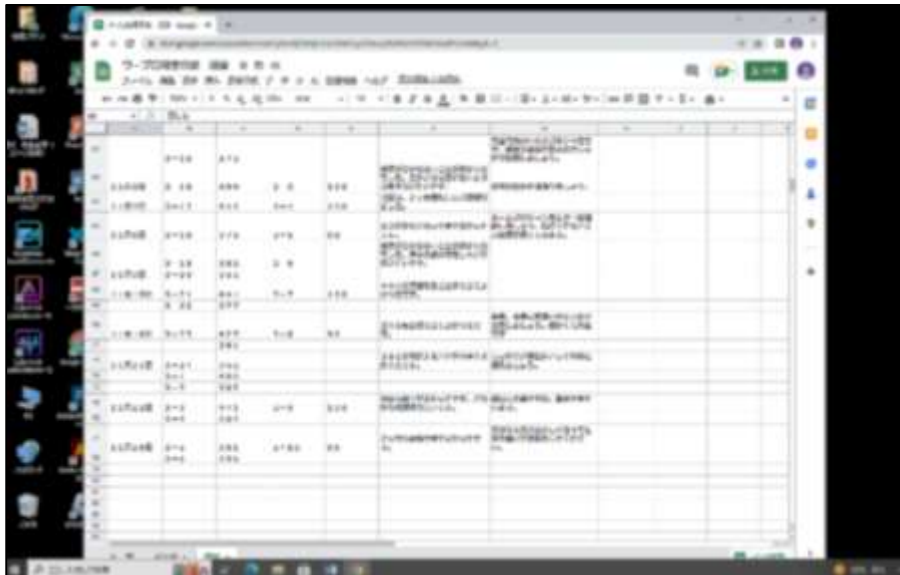
視点2

- ・ 相手に伝わるような文章の構成を考える。
- ・ 読みやすい文字（丁寧さ、正確さ、大きさ、濃さ）で書くよう意識する。

子どもの 変 容

- ・ 発表の内容が視覚化され、より正確に考えが伝わり、同時に文章の間違いも指摘された。
- ・ 適切な文章を書くよう意識するようになった。
- ・ 丁寧に書字するようになった。

第1学年 情報デザイン科 DTP技術 「一斉指導への対応と学習記録」



モニターで学習記録を共有

視点1

- ・ 教師の演示を大型モニターで見てから自身のPCで操作し、疑問点は大型モニターで再確認する。
- ・ スプレッドシートで結果を数値で残し、自身の習得度を知る。

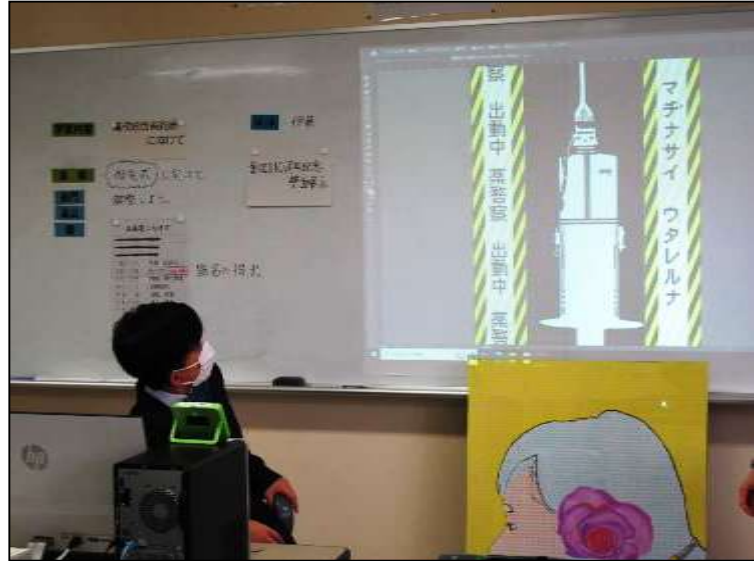
視点2

- ・ 課題文に応じたツールの操作法や留意点について解説を聞くだけでなく、モニターで視覚的に捉える。

子どもの 変容

- ・ 毎回シートに結果を記録することにより、前時から向上した点を自身で確認できるため、学習意欲につながった。また、振り返りによる本時の課題を教師と共有することにより、次時の改善点が明確になった。

第3学年、専攻科第1学年 印刷デザイン 「実寸大を投影しての改善」



プロジェクターで実寸大に投影

視点1

- ・パソコンの画面上で制作したものをプロジェクターで実寸大に投影することで、文字の大きさや色、形などの改善点を具体的に考える。

視点2

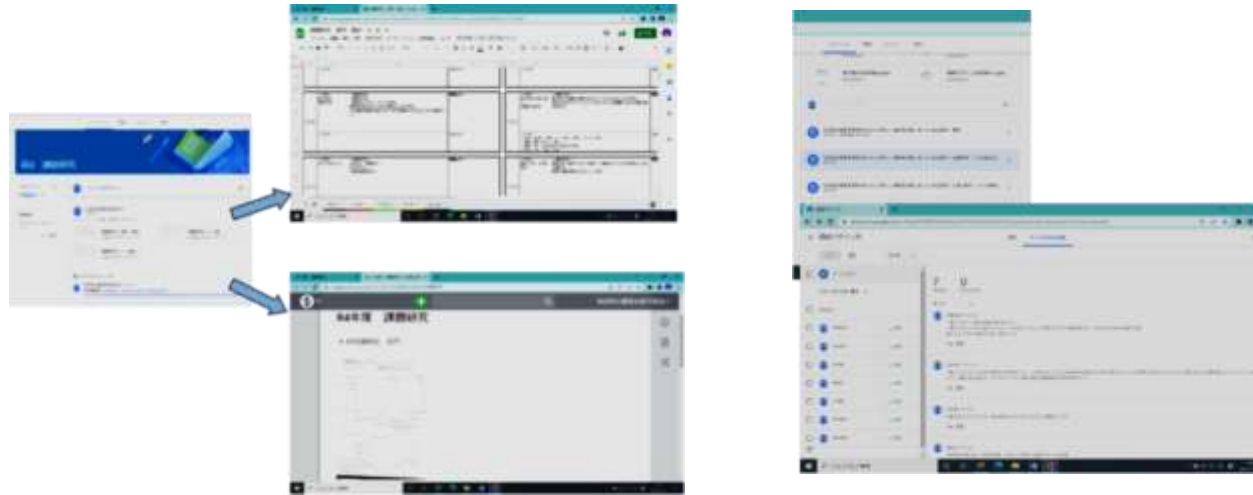
- ・互いの制作状況を確認し、アドバイスや意見交換をするなどして、自分の制作を改善する。

子どもの 変容

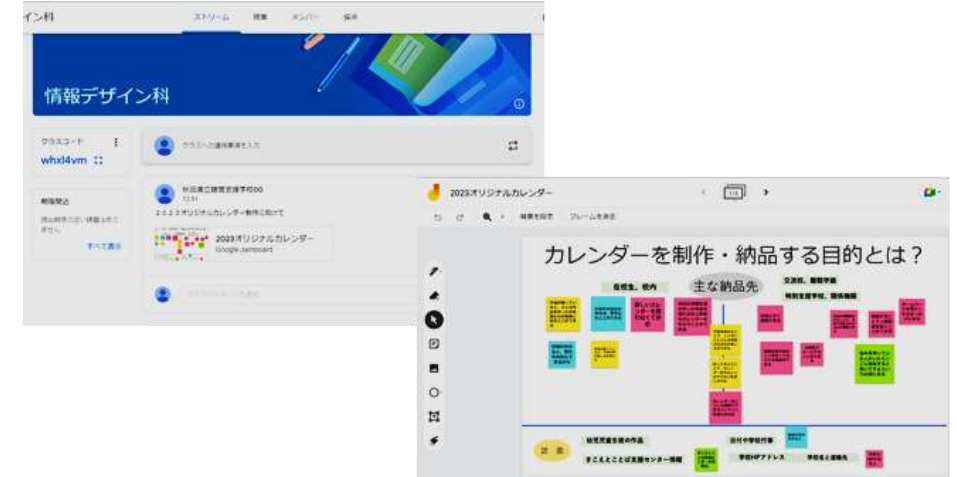
- ・実寸大で確認したことで、印刷前に全体のバランスを確認し、調整できた。それぞれ、投影したホワイトボードの前で、大きさや色合いを確認できた。

第3学年 課題研究

「学習記録の蓄積」



Google classroomで他者と共有



Jamboardで共同編集

視点1

- ・毎時間の学習内容を記録し、次の目標や課題を決めることで、計画的に学習を進める。
- ・信頼性のある情報が判断するため、参照したウェブサイトをスプレッドシートに記録する。

視点2

- ・研究内容をグループ内で共有し、各々の考えや意見を確認したり編集したりする。

子どもの 変容

- ・研究構想図やスプレッドシートに入力した学習記録から、研究の進め方を修正したり、課題を決めたりしながら取り組むことができた。

環境委員会 委員会活動

「クリスマスケーキの聞き取りを通じた交流活動」



iPadでGoogleFormsを使って希望の聞き取り

視点 1 ・ GoogleFormsでの回答を通して、アンケートフォームの構造を知る。

視点 2 ・ 幼児への伝わりやすさを考え、工夫してやり取りをする。

子どもの 変 容

- ・ 次のリクエスト給食のアンケート作りでは、「イラストがあった方が分かりやすい」など工夫するようになった。
- ・ 伝えたい意欲が高まり、視線を合わせて口形を見せようとしたり、ゆっくり大きな声で話そうとするようになった。

第2学年 英語表現Ⅱ

「視覚的情報による学習内容の提示と押さえ」

5. 日本は世界で2番目に大きな
ポップミュージックの市場だ。
Japan is **the [s-----]**
[l-----] [m-----] for pop
music in the world.

段階的な穴埋め文の提示による練習

視点1

- ・教科書データを大画面で共有し、書字機能を使って必要な情報を書き加え、内容を押さえる。
- ・段階的な穴埋め文を提示し、基本文の定着を図る。

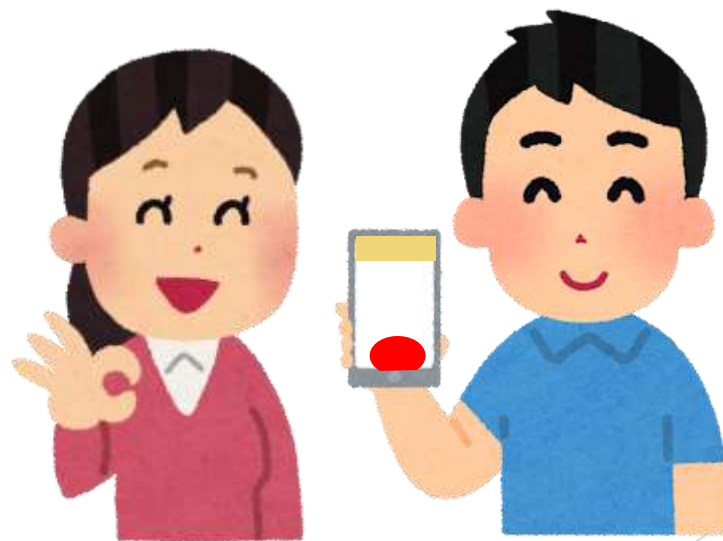
視点2

- ・英語での発問や確認が必要な語句や表現は文字で提示し、正確に伝える。
- ・口頭だけのやり取りや発表にせず、文字での情報を介して、正確に伝え合う。

子どもの 変容

- ・スペルが似ている単語の確認やわからない発音などは共有画面を見ながら確認するようになり、語句や表現の定着につながった。

実践紹介 寄宿舍



「合同余暇に向けたルール確認の際の音声文字変換の活用」



音声文字変換でルール説明（事前）



モニターで情報と説明を確認（事前）



ルールを理解しての合同余暇（当日）

視点2

- ・ルール説明を視覚化することで、確実に理解し、分からないことを質問し、確認することができる。

子どもの 変容

- ・音声文字変換を活用することで、生徒のルールへの理解がより深まり、当日はスムーズに交流ができた。

「防災学習会での情報保障のための音声文字変換の活用」



音声文字変換で情報を得る



モニターで情報と説明を確認

視点2

- ・ 学習会の進行職員の音声を視覚化したことで、分からないことを確認し、全員が同時に情報を理解することができる。

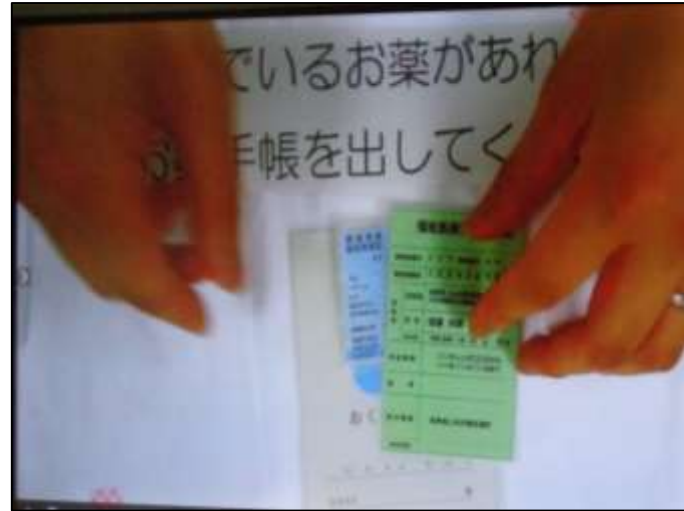
子どもの 変容

- ・ 自分たちで情報を得やすい機器の位置関係について意見を出す等、自ら積極的に情報を得ようとする姿勢が見られた。

「ロールプレイング時の筆談の様子を共通理解するための 書画カメラと電子黒板の活用」



書画カメラでメモのやり取り確認



書画カメラで受付の手順確認



受付で質問を想定してやり取り

視点1

- ・スマートフォンのメモ機能を用いて、自分の伝えたいことを伝える。

視点2

- ・受付のやり取りを視覚化することで、全員同時にお互いの工夫を見合い、検討したり、振り返ったりすることができる。

子どもの 変容

- ・やり取りを書画カメラで視覚化することで、他の生徒の方法を参考にして、自分が伝える際の方法を工夫する様子が見られた。

「ロールプレイング時の筆談の様子を共通理解するための 書画カメラと電子黒板の活用」



「ロールプレイング時の音声でのやり取りを共通理解するための 音声文字変換の活用」



診察のやり取りの確認



メモ機能を活用して伝える



筆談を活用するやり取り

視点 1

- ・スマートフォンのメモ機能を用いて、自分の伝えたいことを伝える。

視点 2

- ・診察のやり取りを視覚化することで、全員同時にお互いの工夫を見合い、検討したり、振り返ったりすることができる。

子どもの 変 容

- ・やり取りを書画カメラと音声文字変換で視覚化することで、他の生徒のやり取りの内容が分かり、様々な症状に対する受け答えの仕方を知った。

「ロールプレイング時の音声でのやり取りを共通理解するための 音声文字変換の活用」



実践紹介 支援部



オンラインを活用した相談支援

「動画視聴を通じた特別支援学校担任への支援」



活動場面の動画 1



活動場面の動画 2



担任と担当との面談

活用の 目的

- ・コロナ下のためオンラインでの相談に対応する。
- ・具体的な場面の動画視聴を通して、必要に応じた助言を行う。

成 果

- ・直接の訪問でなくても、情報が必要な場面について動画で共有し、十分な情報提供ができた。

「聴覚障害教育担当者研修会」



参加者全員のモニター画面



配信の様子

活用の 目的

- ・ 研修希望者に、コロナ感染症の心配をすることなく研修を受けてもらう。

成 果

- ・ 参加者は、希望の場所から、感染症の心配をすることなく研修を受講することができた。
- ・ 事前の接続テストや講話の録画等により、当日はスムーズに研修会を実施できた。さらに、主催側も対面と比較し、講話に集中することができた。

「小学校難聴学級担任との難聴理解学習の事前打ち合わせ」



打ち合わせの様子

活用の 目 的

- ・ 移動時間や打ち合わせのための手続きをなくし、手軽に打ち合わせを行う。
- ・ 画面を通じて、理解学習で使用する教材等を見合い、共通理解を図る。

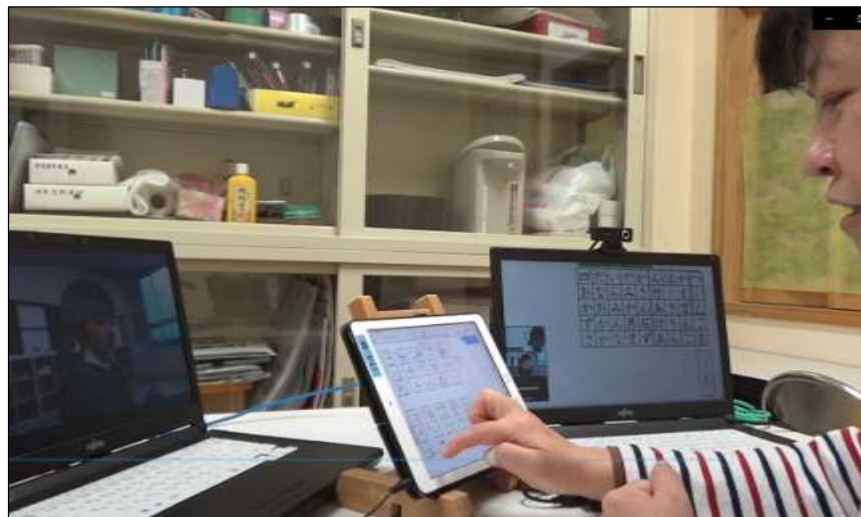
成 果

- ・ 事前に必要な資料に目を通し、打ち合わせ内容を絞ったことで効率的に必要な内容を確認できた。また、持参予定の教材を見てもらうことで実際の活動のイメージをもってもらうことにつながった。

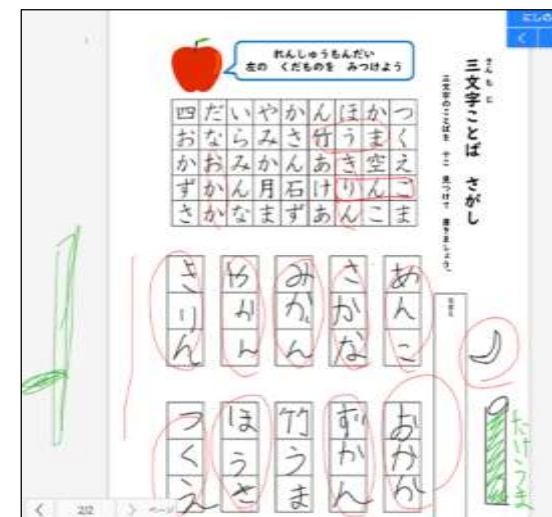
「MetaMoji Classroomを 活用した小3 児童の教育相談」



共有アプリはタブレットに表示



アプリに直接記入し、即時に反映



その場で描いて意味を確認

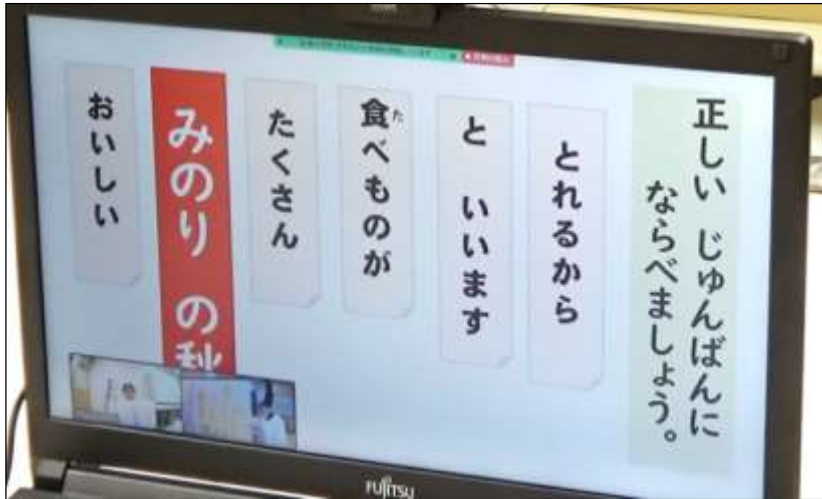
活用の 目 的

- ・ 在籍校で活用しているアプリを共有することで、児童に負担なくオンラインによる相談支援ができる。

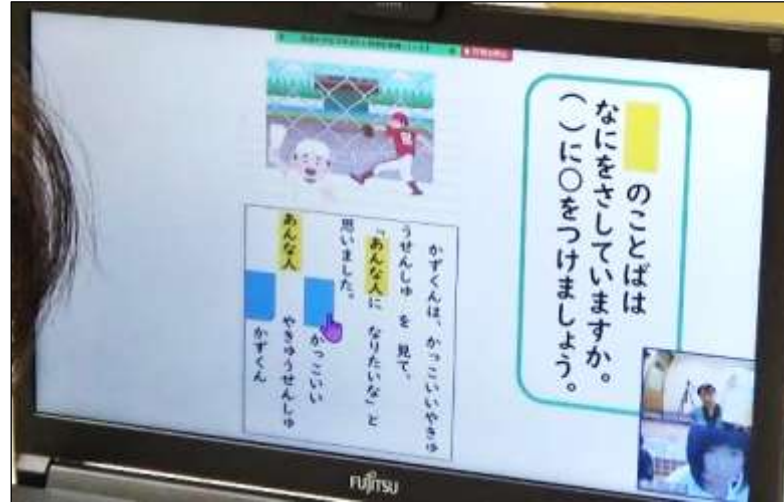
成 果

- ・ 在籍校で日常的に活用しているアプリを共有したことで、児童が自分で操作し、リアルタイムで活発なやり取りができた。
- ・ オンラインには在籍校担任の協力が不可欠であり、様々な状況を想定し相互の役割を確認しておくことが大切だと分かった。

「PowerPoint を活用した小3児童の教育相談」



児童は手元の実物カードを並べ替え



共有したデータは双方で操作可能



プリントで学習を振り返り

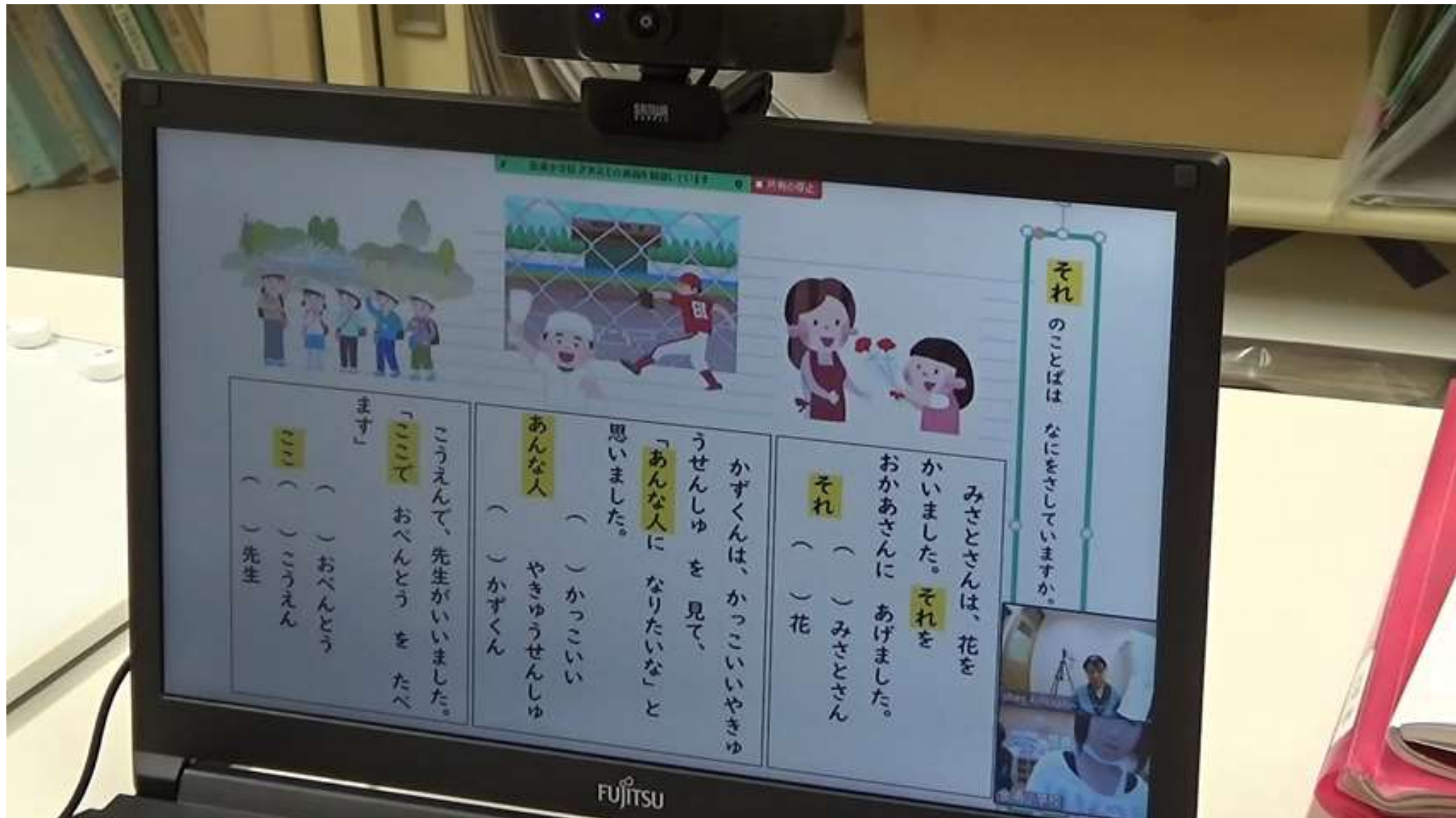
活用の 目 的

- ・移動の負担軽減と学習の焦点化により児童の集中力向上を図る。

成 果

- ・リハーサルを実施したことで、在籍校担任とねらいを共通理解した上で、機器操作も円滑に教育相談できた。
- ・児童自身の活動場面を多く設定したことで最後まで集中できた。

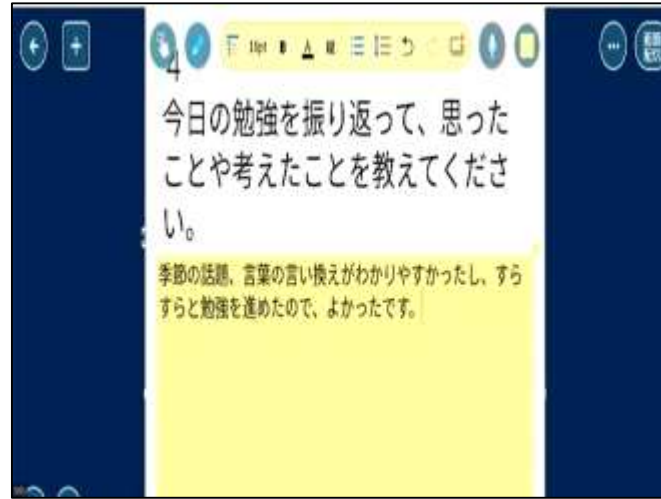
「 PowerPoint を 活用した小 3 児童の教育相談」 動画



「ロイロノートを活用した中 1 生徒の教育相談」



生徒が考える場面



生徒の振り返りを担当が即時文章化



担任との情報交換

活用の 目 的

- ・ロイロノートで対象生徒と双方向のやり取りを行う。
- ・語彙や語法を広げるための指導方法を関係者間で共有する。
- ・中学校生活と両立を図る教育相談を行う。

成 果

- ・対面以上に生徒が集中して取り組むことができた。
- ・指導方法や必要な指導内容について共有できた。
- ・授業や学校行事への参加に支障なく相談できた。

「ロイロノートを使用した中 1 生徒の教育相談」 動画

2 日は同じイヤだったんですか。
聞きづらかったんですか。

1 2 3 4

聞きやすい 聞きづらい

The screenshot displays a digital whiteboard application. At the top, a toolbar contains various drawing tools like a hand, eraser, pencil, and highlighter. The main workspace features a horizontal blue line with four vertical tick marks labeled 1, 2, 3, and 4. Below the line, the text '聞きやすい' (easy to hear) is positioned under the first two marks, and '聞きづらい' (difficult to hear) is under the last two. Above the line, there is Japanese text: '2 日は同じイヤだったんですか。' and '聞きづらかったんですか。'. The interface is framed by dark blue sidebars containing additional controls like a plus sign, a microphone icon, and a '画面配信' (Screen Broadcast) button. A small 'SX1' logo is visible in the bottom left corner.

I C T 活用実践紹介

ご視聴 ありがとうございました。